

真菌の分離・鑑別用

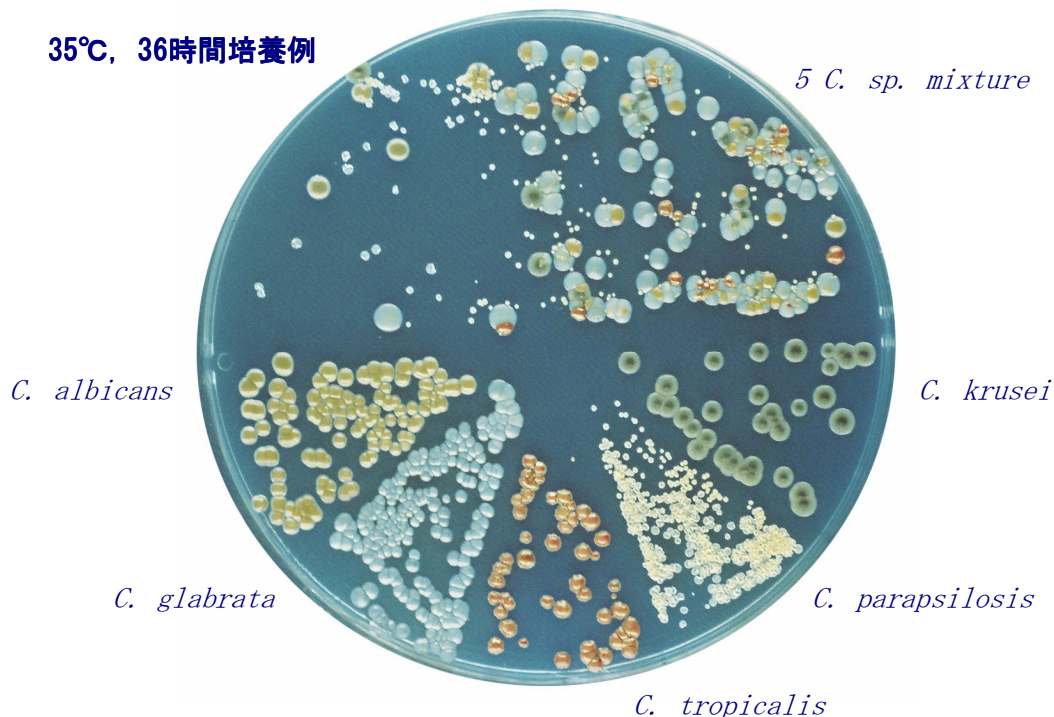
「セロテック」ATG寒天生培地

カンジダ属は皮膚や粘膜などの常在微生物の一種であり、各種臨床材料から分離される真菌の中で最も頻度が高い菌種です。また近年その種類が多様化し、*Candida albicans*（以後*Candida*を*C.*と略す）をはじめとして、*C. glabrata*, *C. tropicalis*, *C. parapsilosis*, *C. krusei* などが高い頻度で分離されています。

これらカンジダ属をはじめとする酵母様真菌は、院内感染や日和見感染、菌交代症の原因菌として重要視されており、その正確な分離・同定は感染症の治療にとって有益な情報となります。

「セロテック」ATG寒天生培地は従来の真菌分離用培地に改良を加え、検体中の真菌を選択的に分離すると同時に、本培地に添加された銅塩および酸化還元指示薬により、主要なカンジダ属菌種が異なるコロニー色を呈する培地として開発し、複数菌種検出の迅速化を図りました。

35°C, 36時間培養例



分離例（自社保有のカンジダ属菌株にて、35°C, 36時間培養の場合）

- C. albicans* : 濃い黄色～濃い黄赤色の釣り鐘型のコロニー
- C. glabrata* : 明るい灰青緑色～の扁平型のコロニー
- C. tropicalis* : 濃い黄赤色～濃い黄みの赤色の釣り鐘型のコロニー
- C. parapsilosis* : くすんだ赤みの黄色～くすんだ緑みの黄色で比較的小さなコロニー
- C. krusei* : 灰黄緑色～暗い黄緑色の扁平型のコロニー

培地組成（培地1000mLあたり）

ポテトエキス	4.0 g	硫酸銅	0.25 g	界面活性剤	3.0 g
ブドウ糖	40.0 g	酸化還元指示薬	0.04 g	細菌抑制物質	
寒天	16.0 g			pH 5.6±0.2 (25°C)	

使用法

新鮮な検体を直接培地面に塗抹し、35～37°Cの恒温器で1～3日間培養します。（4日間以上培養する際は、コロニー色が退色する場合がありますので注意してください。）本培地上に生育してきた酵母様真菌や糖利用能および糖発酵能などの生化学的検査または血清学的検査を行ってください。

包装形態 10枚入, 100枚入
有効期間 製造後12カ月間

貯法 遮光して室温保存
(凍結させないようにしてください。)



株式会社 セロテック

お問い合わせ先（企画開発室）
〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

E-mail: kikaku@serotec.co.jp
TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143